

墨田区議会

自由民主党会派報

発行

墨田区議会自由民主党

墨田区吾妻橋 1-23-20

発行責任者 出羽邦夫

<http://jimin-sumida.jp/>
墨田区議会自由民主党のホームページを
リニューアル致しました。
ご意見・ご要望をお待ちしております。

第一回定例会開催 (2月12日～3月30日)

平成21年度予算特別委員会開催 (2月25日～3月12日)

プレミアム商品券発行 (1万円で11,500円分の商品券)

区内の消費活性化のため **自民党の主導で+15%を獲得**

★販売日程・販売場所等は、4面をご覧ください。

★サギには、くれぐれもご注意ください。



写真説明／錦糸公園入口・友好都市記念植樹の桜

スカイツリー関連まちづくり予算

平成21年度予算特別委員会

(2月25日～3月12日)

委員長 中村光雄
委員 坂下 修、木内 清、出羽邦夫、田中邦友、
林 恒雄、山本とおる、福田はるみ

山本とおる委員

21年度予算に対する意見を開陳(概要)

二十一年度の墨田区一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、老人保健医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算について、墨田区議会自由民主党を代表して意見を述べる。

過去最大の予算規模、確実な予算の執行を

アメリカ発の国際金融危機の影響が実体経済に波及し、輸出主導の成長を続けてきた日本経済は、ひときわ大打撃を被り今日まで経験したことのない危機的な状況に直面し、先行きがまったく見通せない大きな不安感が漂い、区内の企業経営、区民の生活は誠に厳しい状況にある。このような経済環境のもと、墨田区の二十一年度予算は、一般会計で前年度と比較し〇・五%増の一千四



左から西原文隆議長、中村光雄委員長

百三十四億二千二百万円で作成された。これは過去十年間で最も大きい予算規模である。基本計画の着実な実施と新タワー関連事業など、優先性、緊急性の高い事業について可能な限りの財源配分を行ったとの事であるが、区民のニーズに的確に応えながら、経済状況の変化を注視しつつ、確実な予算の執行に努めていただきたい。

歳入について

景気悪化の影響により、最も大きな構成比を占める特別区交付金の見込額、他の交付金等が大幅な減少となったが、新たな収入創出の模索や区の有する各債権、滞納金等の回収にも積極的に取り組む、財源の確保に努められた。

歳出について

①新タワー(東京スカイツリー)関連事業について
まちづくり、周辺整備事業の着実な進展を図られた。総事業費百九億三千万円に対して、二十一年度は七億八千九百万円の予算計上であり、来年度以降への事業展開が大いに懸念されることである。また、「まちづくり交付金」で補填されない事業費の四分の三を財政調整特別交付金で確保するとの区長答弁があったが、なお一層の尽力により、都の協力支援体制を確実なものとし、着実に実行されたい。

②すみだスタンプ事業について
区及び墨田区商店街連合会が従来の運営を検証し、十分な反省に立ち、まず、スタンプ事業清算の道筋を立てた上で支援策を講じるべきである。電子マネーシステム導入への支援は、事前の計画、目標を明確にしてシステムの構築を図り、有効に活用して組織が活性化、発展することを強く望む。

③すみだ環境区宣言について

我が会派が提唱した「環境区宣言」については、雨水を始めとする先進的な取り組み、ふれあい館構想、庁舎リフレッシュ計画の取り入れ、鹿沼市との自然交流など国の内外に環境情報を発信し、一年を通して環境のよき未来をアピールする宣言になるよう期待する。

④緊急経済対策について

国や都の動向も視野にいれ、本区の地域事情に則した独自の対策実現を検討されたい。特に、プレミアム商品券発行事業は、我が会派が提案したプレミアム率アップを強く要望する。

⑤子育て支援策について

昨年、緊急三カ年計画を策定したところであるが、経済環境の悪化に伴い本年は申込者が増加し、更に入園が困難な状況が生じてきた。あらためて改善に向けた早期の取り組みを要望する。

⑥高齢者・障害者施策について

基本目標である「安心して暮らせるすみだ」実現に向け、利用者のニーズを十分に踏まえた適切なサービスの提供を望む。とりわけ施設介護の待機者問題など高齢者福祉対策、就労支援等の障害者福祉対策も重要な課題であり、着実な推進を期待する。

要な位置づけとなる。十分な準備の上で組織化、事業運営に努め、区として自立に繋がる支援を望むと共に、「ホスピタリティ」の精神のもとに観光振興プランの具体化、収益事業の展開など、すみだの観光をリードする組織に育成されることを期待する。

⑦教育について

厳しい財政状況の中で、耐震化に向けた校舎や屋内運動場の整備、人員の手立て、学校のICT化の推進、授業や行事への支援、施設の整備等、様々な教育環境の改善、支援策が盛り込まれ、積極的な予算と評価する。教育委員会は、この恵まれた状況を無駄にすることなく、長年の懸念である「学力の向上」に腰をすえて取り組み、「すみだ教育指針」に描かれた「すみだの子どもたち」を育てていけるよう真剣に努力されたい。

⑧行財政改革について

導入された行政評価システムを十分に活用し、内部評価にとどまらず区民の声の反映や予算で示された外部評価により、更なる推進を期待する。

以上、主だった点について申し述べたが、委員会審査における我が会派委員の提言、指摘についても、今後の区政運営に反映されることを大いに期待し、理事者を始め区職員の皆様には、区民の目線にたち区民の利益に奉仕する役割を完遂されるよう切にお願いする。平成二十一年度の一般会計予算並びに国民健康保険特別会計予算他三件について賛意を表し、墨田区議会自由民主党の意見開陳とする。



意見を開陳する、山本とおる委員

第一回定例会での質問概要

(2月12日～3月30日)

代表質問



出羽 邦夫

◆平成21年度予算の特徴と財源不足への対応について

問 米国発の未曾有の大不況が日本を襲っている。本区にとっても、扶助費等の義務的経費や緊急経済対策による商工対策費の急増が予想される。今回の予算編成過程においても、取支均衡に向けた厳しい選択や苦労があったと思うが、何に重点を置き、見直した事業は何か、予算の特徴を伺う。

また、特別区交付金などの各種交付金については二十億円の減収が見込まれているが、今後の収入不足にどう対処していくのか。現下の経済状況下で基金・起債の活用は慎重であるべきだが、基金繰入額と充当先、充当後の残高について伺う。さらに、起債残高と公債費比率の推移について尋ねる。

一方、二十一年度予算については、更に厳しい状況が予想されるが、現時点での将来構想について尋ねる。また、学校跡地等の売却を予定しているが、資産売却には慎重であるべきだ。区長の考えを伺う。

答

新年度予算は、基本計画の着実な実施をはじめ、防災対策や公共施設耐震化、子育て支援対策、環境対策など重要課題に積極的に取り組む予算とした。また、新タワー開業を見据えた観光まちづくりや商業活性化にも取り組むほか、学校管理業務の民間委託など事務事業の見直しを行った。

景気悪化による特別区交付金の減少に対応するため、臨時的な財源対策として、基金や起債の活用を図っていく。二十一年度は、財政調整基金から二十億円を繰入れ、不燃化促進、防災関係事業等へ充当する。また、公共施設整備基金から十八億

円を繰入れ、学校施設の耐震補強等に充てる。充当後の残高はそれぞれ三十四億円、六十一億円と推計している。起債は、曳舟駅前開発事業等に充てることとしており、起債残高は約三百億円、公債費比率は概ね六％で推移すると見込んでいる。本区を取り巻く経済状況は今後一層厳しさを増すと思われる。経済状況の推移を見た上で事業の見直しを含め、弾力的に望んでい。また、財産処分は、区民の理解を得た上で行っていく。

◆速やかな定額給付金の給付など経済対策の取り組み

定額給付金は、一時も早い給付が功を奏する考えだが、給付までにかかる期間は、また、給付に合わせたプレミアム商品券を発行する自治体もあるが、墨田区としての動きはどうか。

緊急経済対策として追加措置された信用保証料の全額負担は、保障協会での審査が厳しいの声を聞くが、円滑に利用できる計が必要ではないか。

また、オンラインで招致は、経済効果もさることながらスカウターの墨田区をアピールする絶好の機会だ。区長の招致への意気込みを伺う。

定額給付金は、できるかぎり早く給付できるように、補正予算の議決が得られ次第、全庁をあげて取り組んでいく。また、プレミアム商品券も発行し、新たに創出される消費を区内商店街へ取り込みたい。

◆福祉関係者の連携を強化し在宅医療への対応を

高齢化が急速に進み、在宅医療へのニーズが高まる中、高齢化率の高い墨田区においては、病院・診療所・薬局・訪問看護ステーションなど福祉関係者のネットワーク化を図り、在宅医療のシステム作りを推進すべきだ。また、在宅医療の中心を担う「かかりつけ医」の普及について区は取り組みを伺う。

高齢者の孤独死や閉じこもりを防ぐために「地域包括ケア会議」の期待は大変大きい。今後の展開を伺う。

◆「在宅医療支援診療所」が、今後の在宅医療の拠点施設に

「在宅医療支援診療所」が、今後の在宅医療の拠点施設に。周知が十分でない状況である。区としても、区民ニーズを調査し、墨田区との連携を図りながら必要なシステムづくりを進めていく。

「かかりつけ医」についても、医師会と協力しその普及に努めたい。

◆「すみだ環境区宣言」について

墨田区民の環境問題に対する関心は高く、省エネについては、六〇％の人が実践し、行動はしていないが意識するようになった人は三〇・六％。意識はしていても、どのようにしたいのか分からないうのが現状だと懸念。

行政が率先して、目標を掲げ、区民に具体的な行動を呼びかけていくことが必要だ。「すみだやさいま宣言」十周年にあたり、区民の方々に環境にもっとやさしいまちづくりを呼びかける。「すみだ環境区宣言」を示されることは誠意の得た施策であり大いに期待したい。

昨年第三回定例会で我が会派の山本議員が提案した、鹿沼市との友好協力に「すみだの森」をつくらうという提言は、まさに二酸化炭素削減に資すると考えられる。鹿沼市との交流事業を深め、「すみだ環境区宣言」の一翼を担うたい。

「水と歴史のハート」豊かな環境と文化が織り成すいきいきすまみを標榜し、雨水利用でトップの墨田区が宣言するすみだ環境区宣言には、多くの期待が寄せられると思うが、区長の考えを伺う。

環境区宣言は、環境の取り組みを更に加速し、区内外に環境先進区を目指す墨田区をアピールするものと考えている。

環境学習の観点など様々な効果が考えられるので、提案の趣旨も踏まえて検討、協議をしていきたい。

◆小・中学生の体力テスト結果について

子どもたちの体力低下を懸念しているところであるが、墨田区における児童生徒の体力テストの結果をふまえ、今後の体力向上に向けた指導方針について教育長に伺う。

平成二十年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果をみると、現在の児童生徒の体力低下は憂慮すべき状況にある。本区においてもその対策にはぜひ力を注い、かなければならないと認識し、保健体育授業の内容の充実と工夫を凝らすよう働きかけていきたい。

学校のみならず保護者、地域住民の皆様方による協力や連携が不可欠で、家族で参加できるスポーツイベント、ラジオ体操の一層の振興など、地域の皆さんと一緒にやる活動推進にも積極的に取り組んでいきたい。

◆錦糸町副都心の南北一体づくりについて

商業活性化のために錦糸町副都心の整備が必要

この度の平成二十一年度予算に、重要施策として商業活性化すまみプログラムを、地域拠点地区整備予算があるが、この中に錦糸町地区が入っていないのは残念である。このままではプログラムで示された地域資源、文化、歴史の掘り起こしや、定住人口、交流人口、新しい産業との兼ね合いで展開されるまちづくりの、具体的



林 恒雄

一般質問

的な取り組みの弱さを助長してしまうのではないかと懸念している。

江戸時代からつく歴史や文化、史跡も数多く、人口の流動性も活発な錦糸町地区を、既に完成した街として片付けるのではなく、活性化整備地区としての取り組みを進めるべきである。区長の見解を伺う。

商業活性化プログラムでは、区内に六の拠点地区を設定し、錦糸町もその一つであるが、まずは押上・粟平橋地区と両地区から着手した。来年度は、吾妻橋地区と曳舟地区を加え、地元発意による商業活性化のための組織化を進めることとしている。錦糸町地区は区内最大の商業集積を有し、重要な課題であると認識しており、できるだけ早く地区の体制づくりを支援していきたい。

我が会派は、新タワー通りの電線地中化を、堅固語を起点とするよう要望しているが、地元町会も署名要書をもつてタリキリ明るい繁華街とすべく電線の地中化を要望した。錦糸町駅北側より南側の方が南側の滞留も多くあり、新タワー通りは南側からスタートすべきだ。駅の北側からは副都心の活力が分断され、タワー効果を半減させる。計画の改善をぜひお願いしたい。

◆仮称新タワー通りは錦糸町南口から

現在、現在の計画では浅草通りから北斎通りまでとし、詳細設計を予定している。地元からも要望のあった錦糸町南口地区の電線類の地中化は、副都心錦糸町の活性化に寄与すると認識しているが、財政負担や技術的な課題も多く、当面は北斎通りまでとし、その延長については今後の検討課題としていく。

都道四丁目通りは、押上・粟平橋地区と錦糸町を結ぶ重要な幹線であるが、歩道が狭く電線も地中化されていないことから、東京都に対し早期整備を要望している。引き続き実現を働きかけていきたい。

また、大横川親水公園における施設案内についても、重要な歩行者空間と位置づけ、整備することとし、昨年から園路パリアフリー整備を行っているので、これに合わせて案内板等を設置していく予定である。

一般質問



桜井 浩之

◆循環バスの導入について

東京スカイツリーができることで、区民にとって広範的なメリットは「区内循環バス」であると考えられるが、区内南北交通や区内公共施設へのアクセス、そして、観光ルートの役割を持つ循環バスを設定するについては、効率よく各地域をカバーできる設定を求めると共に、区民に喜ばれ少子高齢化に資する「やさしいまち宣言」にふさわしい形になることが重要だ。区長のお考えを伺う。

また、この事業化にあたっては、事業主体、運営主体、運営コストが大きな課題であり、また検討段階であると思うが、財源を含め、どう考えるか構想を伺う。

観光促進と循環バスの導入を実現したい。ルート設定にあたっては、区内南北交通や公共施設へのアクセス、既存のバス路線との関係などを考慮し、観光促進だけでなく子育て世代や高齢者にも配慮した運行ルートを検討していく。また、利用者や事業者の負担を軽減し、導入のハードルを下げ、乗客の利便性を高めることにより、区の負担を減らすことも可能である。

さらに、新タワー税に代わるものとして、新タワー事業者の地域貢献などの協力を得ることも必要だと考えており、東武鉄道並びに東武スカイツリーに要請書を手渡した。東京都に対しては、既に新タワー関連事業推進への協力を要請しており、循環バス導入についても連携が図れるよう努めていく。

観光特区については、規制緩和を認める構造改革特区区域制度の可能性については視野にいれ、すみだの地域特性が活かされる運営を考えた。

◆公共施設整備計画について

区民の声や今の社会状況にらして、早急に整備すべき施設は高齢者福祉施設、保育園、子育て支援施設、障害者福祉施設と考える。既に実施計画に基づき、着手や予算化したものもあるが、残念ながら区民のニーズに応えるには不十分だ。

平成二十一年度予算で、旧第五吾妻小学校と旧本所一丁目出張所跡地、南北二箇所に地域プラザが、また、旧立花小学校跡地に特別酔う傾倒人ホームの誘致が予算化されているが、それらの施設は複合施設として考えられるのか、そうでなければ、どのような複合施設を検討しているか伺う。

地域プラザについては、地域コミュニティの中核施設としての性格を持っているが、区民のニーズが変化した場合にも対応できるフレキシブルな施設とした。基本的な機能は「地域人材の育成」「地域活性化」「元氣高齢者支援」「地域情報化支援」「行政サービス機能」と考えており、複合施設として整備することが必要だ。予算計上した旧第五吾妻小学校と旧本所一丁目出張所跡地について、地域の意見を充分にお聞きし整備していく。

旧立花小学校の跡地活用に関しては、特別養護老人ホームの待機者解消を目的として介護保険施設を誘致したいと考えている。特別養護老人ホームの機能に「デイサービスやグループホームの機能を取り入れるなど、高齢者福祉の向上に寄与する施設として整備していく。

残り四丁アアの地域プラザの複合施設については、今後、学校やその他地域施設の統廃合の進捗状況に応じて、順次地域プラザを整備していくことになるが、それぞれの地域特性やニーズに基づいて、その機能役割を総合的に考えていく。

学校跡地は区民共有の財産であり、区内に残された貴重な空間なので、その活用にあたって地域の活性化に資することはもちろん、基本構想、基本計画に掲げる区政の様々な課題や良好なまちづくりを進める方向で、最大限を活用していきたい。区議会をはじめ地域住民の方々の理解と協力にも注力していく。


残りの四丁アアの地域プラザの複合施設については、今後、学校やその他地域施設の統廃合の進捗状況に応じて、順次地域プラザを整備していくことになるが、それぞれの地域特性やニーズに基づいて、その機能役割を総合的に考えていく。

構想から行動へ!! すみだ自民党

平成二十一年度の予算も決定し、各事業の適切な執行が行われるよう、すみだ自民党は一致結束して実現に向かって努力してまいります。


ここに、各議員が所属する委員会、付属機関を紹介します。お近くの議員または会派に、御要望、御意見をお寄せください。

中村 光雄
 両国4-7-10-403
 ☎3632-7870



- 区民文教委員会委員
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 民生委員推薦会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

西原 文隆
 押上1-25-5
 ☎3622-9570




- 墨田区議会議長
- 産業都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 防災会議委員をはじめ各付属機関等委員
- 墨田区土地開発公社をはじめ各公社等理事

瀧澤 良仁
 墨田5-33-4
 ☎3611-4003



- 福祉保健委員会委員
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員長
- 民生委員推薦会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

出羽 邦夫
 八広4-11-19
 ☎3616-5834



- 議会運営委員会委員長
- 企画総務委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 墨田区情報公開制度及び個人情報保護制度運営審議会委員
- 国民健康保険運営協議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

木内 清
 本所2-9-5
 ☎3624-8235




- 区民文教委員会委員長
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 都市計画審議会委員
- 学童災害共済審査会委員
- 環境審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

坂下 修
 向島3-18-10
 ☎3632-7870




- 産業都市委員会委員長
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 優秀技能者選考委員会委員
- 都市圏各審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

中沢 進
 堤通1-5-9
 ☎3611-0740




- 企画総務委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 都市計画審議会委員

桜井 浩之
 立花5-28-3
 レジデンス石原210
 ☎5631-7757



- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 障害者施策推進協議会委員
- 墨田区文化振興財団評議員

林 恒雄
 江東橋1-8-7
 ☎3631-1934



- 都市開発・災害対策特別委員会委員長
- 産業都市委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 障害者施策推進協議会委員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

沖山 仁
 京島1-39-1918
 ☎3616-1050



- 墨田区監査委員
- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

田中 邦友
 八広1-39-17
 ☎3616-7014



- 企画総務委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区文化振興財団評議員


プレミアム商品券の販売は
4月26日(日曜日)午前10時から

▼販売単位
 五百円券23枚つりを一冊とし、一冊で販売します。
 購入は、一人一冊限りで、三冊までです。

▼販売場所
 ○区役所一階アトリウム
 ○すみだ産業会館
 ○すみだ障害学習センター
 ○すみだ知友小企業センター


○26日に完売しない場合は、翌日以降、墨田区商店街連合会事務局(区役所14階産業経済課内)等で販売します。

福田はるみ
 業平4-5-16
 ☎3625-8139




- 福祉保健委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 青少年問題協議会委員

山本とおる
 向島5-42-3
 ☎3622-0010



- 行財政改革等特別委員会副委員長
- 企画総務委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 消防団運営委員会委員

樋口 敏郎
 八広3-6-3
 ☎3617-4129



- 産業都市委員会副委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 国民健康保険運営協議会委員
- 優秀技能者選考委員会委員
- 墨田区社会福祉事業団評議員